

子ども・障害・高齢者・経済困窮等の支援者 &
子育て・福祉・介護・医療・保健等の専門職対象

多分野合同研修

障害分野における支援困難事例への対応力向上を目指して

講演

相談支援における医療的視点と医療との付き合い方

松戸市医師会

会長 川越 正平 先生

事例検討 (グループワーク)

医療中断している支援困難事例への介入

あおぞら診療所

医師 住谷 智恵子 先生

令和5年11月22日 (水) 13:30~16:00

衛生会館 / 参加費無料 / 先着 80名

講演

在宅医療・介護連携支援センターの機能と活用のポイント

ほしの在宅ケアクリニック

院長 星野 大和 先生

申込み方法

松戸市在宅医療・介護連携支援センター (<https://matsudo-zaitaku.org/>) からお申込みください。

3日以内に受信メールが届きます。もし届かない場合は、下記までお問い合わせ下さい。



研修内容の詳細は裏面をご覧ください

問い合わせ先 松戸市在宅医療・介護連携支援センター

電話 047-701-7533 FAX 047-701-7535

講演

相談支援における医療的視点と医療との付き合い方

松戸市医師会

会長 川越 正平 先生

医療の視点から、支援対象者に初めて接した段階からの観察ポイント、情報収集の方法、さらには、緊急性や深刻度の見極め方をご説明します。併せて、敷居が高いと思われがちな医療との付き合い方のポイントをご紹介します。

事例検討（グループワーク）

医療中断している支援困難事例への介入

あおぞら診療所

医師 住谷 智恵子 先生

支援を困難かつ、長期化させる要因として、未受診、医療中断があります。一方、関係性が壊れることを懸念して、介入や医療への接続を躊躇してしまうこともあります。このような事例に遭遇した初期段階での介入及び支援方法について事例検討を行います。

講演

在宅医療・介護連携支援センターの機能と活用のポイント

ほしの在宅ケアクリニック

院長 星野 大和 先生

当センターには、医師、看護職、ケアマネジャー等の多職種を配置し、アウトリーチや専門サポート医（精神科）による相談等を通じ、支援者の後方支援を行っています。センターの機能と活用のポイントをご説明します。